

私たちをとりまく防災レポート

受検級：初級 中級 上級

所属：学校名・団体名など	学年/組	ふりがな
	年 組 番	名前

防災について、あなたをとりまく人たちと話し合ってみましょう。

その内容や家族・知人・友人ととりくんだことをまとめてみましょう。話し合う内容は自由です。

参考事例として、以前のレポートと家族防災会議のポイントを載せています。

* 絵図・写真・表・データなどの使用や表現方法も自由に考えてください。スペースが足りない場合は、A4 サイズの用紙を使って、ページ数を増やしてください。

『参考事例』

①「父の体験談 東日本大震災での悲劇」

私の父は、東日本大震災で地震の揺れとその後に起こった津波を経験しました。親戚・友人の多くの人が命を落としたことが悔やまれていると話しました。

何よりも、自然災害から命を取られないために、防災の学びは大事だと言っています。(以下、省略)

②「通学途中で、地震や水害にあった場合の対応」

自宅や学校に戻れないときにどうするのか、家族と話し合いました。

駅近くの学校や帰宅困難者受入施設(所在確認要す)、避難場所の公園などで避難する。(以下、省略)

③「今、寝ている部屋が安全かどうか？」

私の部屋は、地震が発生したとき、しかも寝ているとき、安全な対策ができていのか家族とチェックしてみました。

机の位置、ベッドの頭の上は、本棚は、タンスは、窓ガラスは、ガラス製品の置き方など色々話し合い、それらの置き場所を改めて決めました。(以下、省略)

『家族防災会議のポイント』

①住んでいる地域でどのような災害が起きるのか。

②自分や家族にとって最悪の事態とは何か。

③いつどのように避難するのか。

④家族間でどのような連絡をとりあうのか

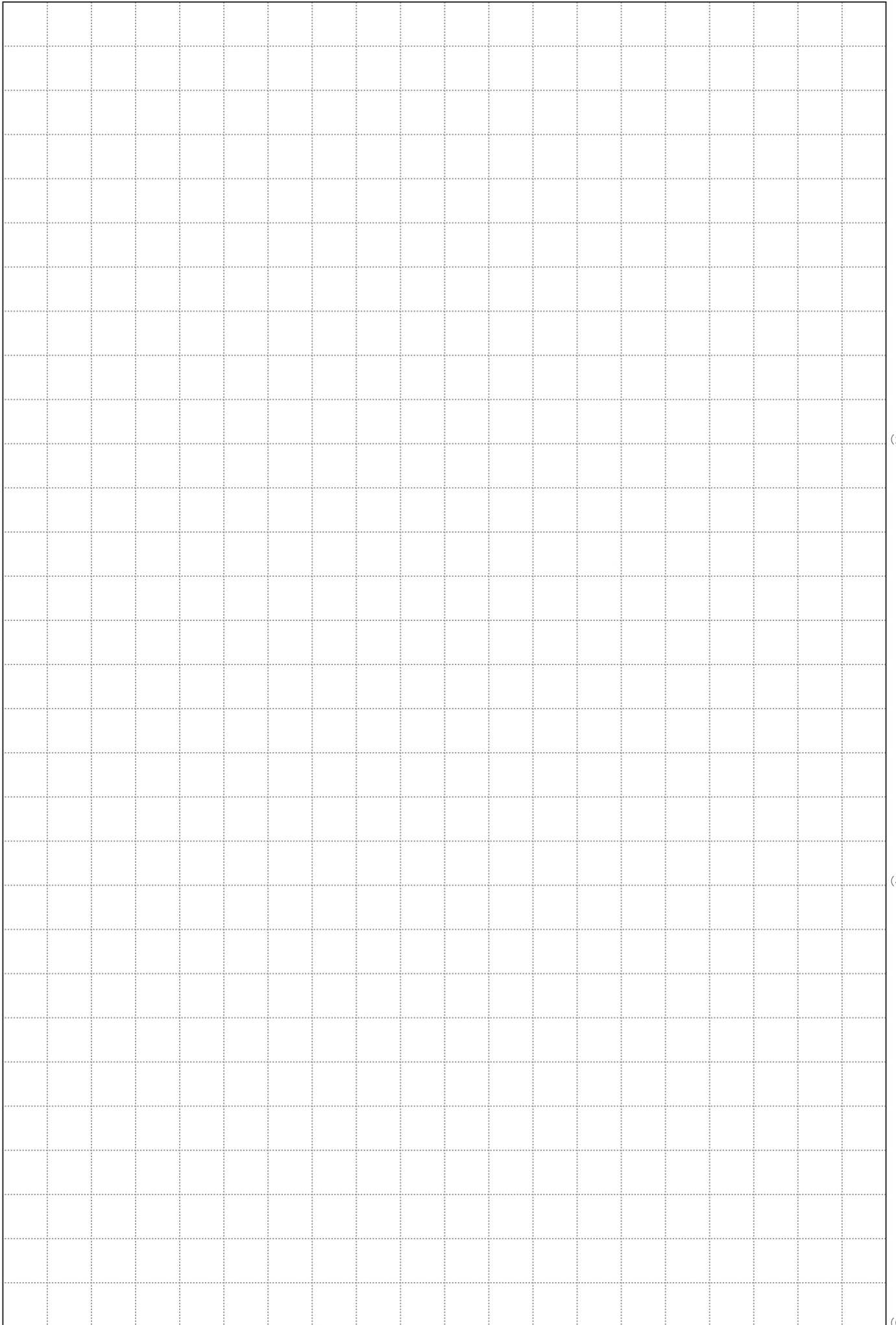
⑤家や部屋をどのように安全にするのか

⑥非常持出袋や備蓄品など何を備えておくのか

⑦生活再建のために何をどう準備するのか

さあ、裏面にレポートをまとめましょう！

このレポート用紙は、防災教育推進協会のWEBサイトからダウンロードできます。ご活用ください。



(200)

(400)

(600)